

湊地区社会福祉協議会 みんなの広場



湊地区専任職員 橋本 晴美

「コロナ禍での開催について」

湊地区自治会型デイホーム「みんなの広場」では、「賭けない」「飲まない」「吸わない」をモットーに、毎月第1金曜日の13時から、健康マージャンを開催しています。最近では、初心者や女性の方も増えてきました。

新型コロナウイルスの影響で中止が続き、再開するにあたり、感染防止対策をどうするか 協力員の方々と会議を重ねました。

健康マージャンは、「3密」のうち「密接」を避けることが難しい面もあり、マスクの上にフェイスシールドを装着し、消毒を徹底することで、8月から再開しました

大会議室にゆとりをもってマージャン台を並べ、利用者の方にマージャン牌などの細かいパーツを一つ一つアルコールで拭き、ゲームをスタート。1ゲーム終了後、換気・消毒・熱中症予防の水分補給を行い、2ゲーム目も楽しみました。

帰りに「スワカのマージャンで楽しかった」「フェイスシールドや消毒など感染防止対策をしてくれているので安心」と声をかけて頂きました。これからも感染予防対策を徹底しながら、頭や指先の体操になる健康マージャンを続けて行きたいと思えます。

円山地区社会福祉協議会 まどかサロン



制作で脳トレ!!

円山地区自治会型デイホーム「まどかサロン」では、三つの会場で、夏におすすめの涼しげでかわいいなオブジェを作りました。

今回製作したのは、ガラス瓶にプラスチック製の氷を入れ、造花を差し入れて麻ひもで吊るす作品です。一見、簡単ですが、麻ひも一本でガラス瓶を吊るすことが難しい工程でした。麻ひもを結び順番を紙に書いたり、ゆっくりと実演もしましたが、なかなか難しく、すっかり脳トレニングになっていました。

協力員さんや、福井市医師会看護専門学校の実習生の方にもたくさんお手伝いしていただき、作品が完成すると、「いい飾ろう」「きれいやの」という言葉をいただきました。皆さんの夏の思い出の一つにしてもらえると嬉しいですね。

円山地区専任職員 岩井 礼美子